

平成28年度 試験研究・知識普及概要

《研究課題名・知識普及名》

製造業技術者なら自在に使える画像認識応用システムの開発

《申請者》

フリガナ：カブシキガイシャソフトソリューションズ
所属機関・団体：株式会社ソフトソリューションズ
職位・氏名：代表取締役 畠山正行

《研究・知識普及の概要》

本研究開発の研究課題は最近開発された超小型の距離(depth)センサーを使った画像認識を目的とした応用システムである。これらのセンサーは元々ゲームやモーションキャプチャー専用であり、測定精度は値段相応、超小型・安価・使い易いセンサーである。これを画像認識の分野に持ち込んで、製造業向けの技術として構築・実装した点が当社独自のアイデアである。類例の研究・開発は殆ど無く、

1. 未だ本来の意味での「製品化・商品化」が必要であると共に、
2. 実用化されれば、先進技術が中小企業の方々にも利用できるという大きなメリットが発生する事が大いに期待出来る

本研究開発では、画像認識技術の実用化・製品化、及び人工知能との融合技術開発を目指し、画像認識応用システムの開発を行う。飽くまで仮であるが、つくば市内の中小規模の機械部品製造業の一社から要求を頂いて、部品組付けの作業をセンサーで見守り、作業者が間違った作業を行うと警告音を発するというシステムを計画している。